

第45回 **内田地区文化祭**  
 第24回 **内田地区福祉ひろばまつり**



令和4年11月1日現在

世帯数	991 戸
人口	2,310 人
男	1,152 人
女	1,158 人

11月6日(日)に、第45回内田地区文化祭、第24回内田地区福祉ひろばまつりが開催されました。雲ひとつない快晴の中、大勢の方々が来場され、楽しいひと時を過ごしました。

数日前にコロナの警戒レベルがまさかの5に引き上げられ、実行委員の皆様にはご苦勞をおかけしましたが、万全の感染対策を施し、入場者数の制限も行い、無事に終えることが出来たと思います。

昨年につき、1日のみの開催でしたが、絵画、写真、陶芸、習字、工芸品などの様々な作品展示があり、午後に行われた福祉ひろばでのステージ発表では、昨年より2グループ多い参加となり、大いに盛り上がりました。

農産物の直売では、見事なネギ、白菜、山芋などが格安で販売され、午前の福祉ひろばでは子ども文化祭と盛り沢山のイベントで賑わいました。

フィナーレは、見事な秋晴れの中、公民館前の駐車場にて内田地区の伝統でもあるササラ踊りを新メンバーも加わり披露して頂きました。

実行委員、関係者、明善中学校の生徒の皆さん、ありがとうございました。

第6町会 今福 三郎

ステージ発表



ひろば体操



ロマンハープの会



メロディーベル



グルプラ



ふるさとの会



手話教室



プアリリア



ササラ踊り実行会&明善中学校生徒

作品展示



子ども文化祭



くじ引き



### 大人の音読講座

10月7日(金)「大人の音読講座」ことばを楽しむ午後(のひと時)が、講師に豊島さおり先生(絵本専門士・J P I C 読書アドバイザー)をお迎えし、開催されました。

まど・みちお「くちびるたいそう」をみんなで音読して口慣らしした後、阪田寛夫「そらだ村の村長さん」等の詩と作者に関する解説を先生から聞き、「どんぐりころころ」「いもにんじん」を脳トレしながら歌いました。

一番人気があった作品は、三島慶子「わたし」と長田弘「最初の質問」です。

先生の声に参加者は元気をもらい、紹介された「ことば」の数々は参加者の心に響いている様子でした。



▲「おちゃのじかん」 島田陽子を音読中

### 10月9日(日) 市民スポーツ大会

### 市民スポーツ大会 市長杯争奪球技大会

**結果**  
ゲートボール(男子) 準優勝  
軟式野球 Dフロック 準優勝  
マレットゴルフ(男子) 12位  
ソフトバレーボール  
(39歳以下) ベスト8  
(40歳以上) 予選敗退



▲軟式野球



▲ゲートボール

### 10月30日(日) 市長杯争奪球技大会



**結果**  
ゲートボール 予選敗退



▲ゲートボール



▲ソフトバレーボール



▲マレットゴルフ

### 夜の馬場家探検

### ナイトウォーキング

10月28日(金)に「夜の馬場家探検&内田ナイトウォーキング」が実施され、保育園児から中学生のお子さんとその保護者の方、馬場家住宅に関心のある大人の方にご参加いただきました。



▲ライトアップされた正門

内田公民館・福祉ひろばをスタートし、馬場家住宅へウォーキングすると、今回のためにライトアップされた正門が登場。

住宅内では、行燈だけの明かりにすると、暗すぎて飲み物の色がわからないこと、障子に映る影で影絵遊びができること、電気の明かりが点くとホッとすることを体験しました。



▲馬場家職員による昔の暮らしについての講義中

### つれづれ編集記

私は妻と一緒に行く、行き当たりばつりの日帰りドライブが好きた。

今日は、「奈川の新そばを食べよう」と、上高地方面へ向かう。妻とのとりとめの無い話をしながらのドライブ、これがまた良い。

実は、上高地には行ったことがあるが、奈川は初めてだ。

野麦街道、県道26号線、初めて通る道だ。標高1,300mを超え、紅葉が実に鮮やかで目を奪われた。市内の色付き初めとはかなり違う、思いがけない初

紅葉狩りとなった。そば屋を探索中、突然猿の群れが出現。体毛がふさふさで、何とも可愛らしい小さな顔を初めて見て感動。

何と、そば屋は閉まっており再び探索。大分離れた場所、「そばの里奈川」を発見し、思わず入店。名物の「新鴨とうじそば」をいただき、また来たいと思わせる中々の美味しさで初体験となった。

帰りは、県道26号線で木祖村へ抜けた。これも初めて通る道で、初めてが沢山詰まった、思い出に残る秋のドライブとなった。

皆さんも如何ですか。

第1町会 酒井 洋